



# 東陶器

1月号  
令和7年1月8日  
堺市立東陶器小学校  
TEL 236-0036  
FAX 236-0020

# 千年

## 1月の行事予定

8	木	3学期始業式 A3下校 11:45 ごろ
9	金	A3下校 11:45 ごろ
12	月	成人の日 (休日)
13	火	給食開始 A4下校 13:45 ごろ
14	水	初研 S4下校 13:15 ごろ ※5-3,6-3 は算数部会研究授業のため下校 15:00 ごろ
16	金	3年出前授業 (3・4校時)
19	月	全校テレビ朝礼 スクールカウンセラー来校日
20	火	2・4年 命の授業 (2・3, 5・6校時)
21	水	堺人研研究大会のためS4下校 13:15 ごろ
22	木	※6年交響楽団芸術鑑賞 (午前 フェニーチェ堺)
26	月	全校テレビ朝礼 スクールカウンセラー来校日
28	水	委員会活動 1~4年A4 5・6年A5
30	金	5年研究授業 S4下校 13:15 ごろ ※5-2 は研究授業のため下校 15:00 ごろ

※22日の6年芸術鑑賞は終了時刻の関係でお弁当の用意をお願いします

## 本年もよろしくお願いたします

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  についてまとめています。



$\frac{2}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  の2個分、 $\frac{1}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  の1個分です。 **A**  
 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  の計算は、 $\frac{1}{5}$  をもとにすると、 $2+1$  を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  は、もとにする数を  $\frac{1}{5}$  にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  について考えています。



$\frac{3}{4}$  は  $\frac{1}{4}$  の3個分、 $\frac{2}{3}$  は  $\frac{1}{3}$  の2個分です。 **B**  
もとにする数が  $\frac{1}{4}$  と  $\frac{1}{3}$  がちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$  はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$  はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

左は令和7年度の全国学力・学習状況調査(6年)の問題の一部です。 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  の計算について、その答えが求められるかどうかではなく、計算の仕方をどのように理解しているかを見る問題です。この問題の正答率は低く、全国平均でも正しく答えられたのは23%程度でした。計算の仕方は下の通りです。

「分母がそれぞれ4と3であるため、そのまま計算はできない。そこで、4と3の公倍数である12を分母とする分数に直し、 $\frac{9}{12} + \frac{8}{12} = \frac{17}{12}$  となる」

しかしこの問題ではこれは正答にはなりません。なぜ分母を12にするのかを説明して初めて正答となります。

全国の6年生の7割以上が誤答になる原因として、次の2つが考えられます。1つめは、「1つ分の大きさの違うものはたしたりひいたりできない」ということを正しく理解していない点です。 $\frac{3}{4}$  と  $\frac{2}{3}$  の1つ分はそれぞれ  $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{1}{3}$  であり、これではたせません。そこで、4年で学習する「分母は違っても同じ大きさの分数がある」という知識を使い、より小さい1つ分である  $\frac{1}{12}$  を見つけ、そのいくつ分になるか(9つ分と8つ分 3年で学習)を考えることが必要です。

それなら上の問題にヒントが出ているのではないか という方もおられるでしょう。上のAには、「 $\frac{1}{5}$  をもとにすると、 $2+1$  を使って考えることができる」とあり、Bにも「もとにする数が…」がちがうので、同じ数にしたい」のように「ヒント」が出ています。この「ヒント」がヒントにならないことが2つめの原因だと考えます。上述の1つめのように「理解できない」のではなく、「説明されればそうだとわかるが、自分ではっきりとは説明できない」という「半分かり(はんわかり)」の状態であるため、重要なヒントであることに気づかないというケースが多いものと考えます。

これを解決するためには、自分がどのように考え、分かっていったのかを、より鮮明に意識し、記録する必要があると考えています。ノートを見ていただければおわかりのように、算数の学習では、自分の考えを書く場面で、子どもたちは上の問題のAやBのような内容をノートに表しています。これが問題解決のプロセスそのものなのですが、その時どきの気づきや気持ちなども書き加えることにより、自分の追究の道筋をより明確に、客観的に意識できるようになるものと考えます。

このほかにも、各学年、各教科では、この問題の解決に向けて様々な取組を始めています。算数では、ノートとは別に、単元の学習の「足跡」を一覧できるような「ふりかえりシート」を作成している学年もあります。また、国語では、単元の学習終了後に、目標としていた力がどのようにしたのかを「単元のふりかえり」としてまとめる学年もあります。何度かお知らせしている理科の「サイエンスレポート」も同じ考えに基づくものです。本年も、楽しく力の付く授業づくりをめざして、学年の発達段階や教科の特性に応じた取組を進めていこうと考えています。

5年のサイエンスレポートの一部です。事実の羅列を超えた深い考察があります

完成された状態に達した  
長期間子宮内に留まること、生まれる時点で月経が高度に発達しており  
複雑な群れの社会構造を認識し、他個体の身を守るために行動するようになる必要がある  
代謝が遅い  
長い妊娠期間は、ゾウの代謝速度が比較的遅いことに関連している。その結果、ゆっくりと着実に成長している  
ヒトの赤ちゃんは、胎内運動機能が未熟な状態で生まれてくる。これは、進化の過程で、胎内運動は、胎内での活動の準備として必要である。結果として考えられている。  
出産後の急速な成長  
ヒトの赤ちゃんは、母親の他者の保護を受ける必要がなく、生後数ヶ月で急速に胎内での成長を達成している。  
双生子

ヒトの大型には、胎内に比べて、長い期間の胎内生活が必要である。

ゾウとヒトとの違いを調べるだけではなく、それが何を表しているのかを解釈したうえで、まとめることができます。

まとめ  
ゾウは、子宮内での、 $\llcorner$ と時間をかけて生存に必要は機能と完成させるのに対し、ヒトは、早期に生れ、出産後の保護と環境適応の中で成長していくという戦略のちがいがあつた!

- 教育目標
- よく考え 主体的に活動する 心豊かな子の育成
  - 自分大好き ○友だち大好き ○学校大好き
- 教職員像
- 子ども一人ひとりのために「学校力」を発揮する教職員
  - 子どもたちの学びを支える笑顔いっぱい元気な教職員
- 子ども像
- 笑顔で登校し、笑顔で下校する子ども
  - 感謝の気持ちを言葉で伝えられる子ども

### ・2月の主な行事

- 4日(水) 初研 S4下校 13:15 ごろ
- 10日(火) 入学説明会
- 11日(水) 建国記念の日(休日)
- 12日(水) PTA役員会 19:00
- 13日(金) 6年学習参観
- 18日(水) クラブ活動
- 20(金) 1~5年学習参観
- 23日(月) 天皇誕生日(休日)

## 授業参観アンケートから

去る11月8日(土)の土曜参観には多くの皆様にお越しいただきありがとうございました。また、その際には、授業アンケートにご協力いただきありがとうございました。いただいたご意見や、今後の方策等についてご紹介いたします。

### ◆授業についての感想等

- ・導入の工夫により意欲的に取り組んでおり、交流もしっかりできていた。
  - ・発言しやすいように先生が上手に盛り上げて楽しい雰囲気を作っていた。
- この他、「積極的に取り組む様子やクラスの雰囲気に安心した。」「一生懸命に取り組んできたことの成果を見ることができた。」等のご感想がありました。

### ◆授業参観の内容や実施方法等

- ・一人一人が発言できたり、自分の意見を言える雰囲気があり、全員が学習に取り組めるよう配慮されていた。
  - ・先生の問いかけに答えるだけでなく、友達との意見交換する機会があるのはいいことだと思った。
  - ・座席の並べ方が工夫されていることによって周りとの意見交換が簡単にできるようで、楽しそうに学んでいた。
  - ・授業の内容が学年にぴったりくるもので、考えさせるのによい体験であった。
- 土曜参観ということで、一人一人の学習の様子をよりわかりやすく見ていただけるようにとの配慮に一定の評価をいただきましたが、下のようなご意見もいただきました。
- ・みんなのレベルに合わせるのは大変だと思うが、もう少しレベルを上げてもらいたい。読解力をさらに高めてもらいたい。
  - ・話し合いに慣れていないせいか、十分に話し込めていなかったように感じた。もっと話し合いの仕方を学べるとよいと思う。
- すべての子どもが学習に参加することができ、力の高まりや成長などの手応えを感じられるように、活動内容や指導支援のあり方を工夫していきます。

### ◆授業参観・学校教育全般についてのご意見

- ・給食の様子や他の授業の様子も見てみたい。
  - ・保護者が参加できる場面を作ってもらいたい。
- さらに多様な学習場面での子どもたちの様子を見ていただけるように、工夫したいと思います。
- ・インフルエンザ等の季節的な疾患への対策が不十分なのではないか。日々の換気や体調管理についての意識を高めてもらいたい。
- 校医の先生とも相談しながら、学級担任や児童の保健委員会を通じた働きかけをしておりますが、さらに健康管理についての意識を高めようと考えます。
- ・姿勢が悪くなってくるのが気になる、学習机に向かって座っている時の座り方が気になる 等のご意見が低学年を中心にありました。
- 最後まで集中して学べる授業づくりを中心に、その都度の担任からの働きかけとともに、近隣の幼稚園・こども園とも情報を共有して改善をめざします。
- ・近隣のこども園等と参観の日程の重なりがあったので、調整できないものか。
- 他の行事との関係でこの時期に設定していますが、調整にも努めます。
- この他、参観できる人の範囲、学校行事のあり方、学校からの情報発信のあり方についてもご意見をいただきました。検討し、改善に努めてまいります。

## 2学期終業式の日の様子です。

1年 充実した2学期だったようです。



2年 先生といっしょに2学期をふりかえっています。



3年 次の目標も見据えているのでしょうか。



4年 2学期の手ごたえを味わっているようです。



5年 背中が2学期のがんばりを語っているようです。



6年 言葉も気持ちもしっかり受け止めているようです。



学校の様子はブログでもお知らせしています。 <http://www.sakai.ed.jp/weblog/index-i.php?id=sakai058>

